

令和元年度全国学力・学習状況調査の結果の概要【札幌市立もみじ台南中学校】

	本校の概要	今回の調査における課題	改善の方向
国 語	<p>【領域】</p> <p>「話すこと・聞くこと」の平均正答率</p> <ul style="list-style-type: none">・全国平均に比べ、下回っている。	<p>話し合いの話題や方向を捉えて<u>自分の考えをもつこと</u>。 (話し合いの話題や方向を捉えることは、昨年度より改善がみられた。)</p>	<p>相手の発言を注意して聞いて、相手の発言を分かりやすく言い換えたり自分の考えと比較したりして、自分の考えをまとめていく活動を行う。</p>
	<p>「書くこと」の平均正答率</p> <ul style="list-style-type: none">・全国平均とほぼ同程度であるが、やや上回っている。	<p>書いた文章を読み返し、論の展開にふさわしい語句や文の使い方を検討すること。</p>	<p>論の展開を確かめながら、「しかし...だろうか」「たとえ...でも」「いくら...でも」などという表現を適切に使い分けることができるようにする。</p>
	<p>「読むこと」の平均正答率</p> <ul style="list-style-type: none">・全国平均に比べ、下回っている。	<p>文章の構成や展開、表現の仕方について、根拠を明確にして自分の考えをもつこと。 文章の展開に即して情報を整理し、内容を捉えること。</p>	<p>伝えたい事柄について根拠となる情報を具体的に示したり、その情報が自分の伝えたいことの根拠としてふさわしいかを検討したりして、自分の考えを整理するようにする。</p>
	<p>「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」の平均正答率</p> <ul style="list-style-type: none">・全国平均に比べ、下回っている。	<p>封筒の書き方を理解して書くこと。</p>	<p>総合的な学習の時間における「礼状」などに関連づけ、封筒やはがきの表書きを丁寧に楷書で書く学習活動を通して、理解を深める。</p>

令和元年度全国学力・学習状況調査の結果の概要【札幌市立もみじ台南中学校】

	本校の概要	今回の調査における課題	改善の方向
数 学	<p>【領域】</p> <p>「数と式」の平均正答率 ・全国平均に比べ、下回っている。</p>	<p>与えられた説明を振り返って考え、式変形の目的を捉えることができること。 事柄が成り立つ理由を説明することができること。</p>	<p>数量や四則計算などについての知識・理解を確かめながら、問題に応じて技能を活用したり考察したりできるようにする。</p>
	<p>「図形」の平均正答率 ・全国平均に比べ、下回っている。</p>	<p>平行移動の意味を理解していること。 結論が成り立つための前提を考え、新たな事柄を見だし、説明することができること。</p>	<p>観察、操作や実験などの活動を通して、図形の関係について調べたりして、平行移動の意味を理解することができるようにする。</p>
	<p>「関数」の平均正答率 ・全国平均に比べ、下回っている。</p>	<p>反比例の表から、x と y の関係を式で表すことができること。 事象を数学的に解釈し、問題解決の方法を数学的に説明することができること。</p>	<p>比例、反比例を表、グラフなどで表し、それらの特徴を理解できるように基本的な演習に慣れさせるとともに、関数関係を見出し表現し考察する能力を培う。</p>
	<p>「資料の活用」の平均正答率 ・全国平均に比べ、下回っている。</p>	<p>資料を整理した表から最頻値を読み取ることができること。 資料の傾向を的確に捉え、判断の理由を数学的な表現を用いて説明することができること。</p>	<p>日常生活の中から、観察などの活動を通して確率について理解し、簡単な場合について確率を求められるようにする。</p>

令和元年度全国学力・学習状況調査の結果の概要【札幌市立もみじ台南中学校】

本校の概要	今回の調査における課題	改善の方向
<p>【領域】</p> <p>「聞くこと」の平均正答率 ・全国平均とほぼ同程度であるが、やや下回っている。</p> <p>「読むこと」の平均正答率 ・全国平均に比べ、下回っている。</p> <p>「書くこと」の平均正答率 ・全国平均に比べ、下回っている。</p>	<p>聞いて把握した内容について、適切に応じることができること。</p> <p>日常的な話題について、簡単な語句や文で書かれたものの内容を、正確に読み取ることができること。 書かれた内容に対して、自分の考えを示すことができるよう、話の内容や書き手の意見などをとらえることができること。</p> <p>一般動詞の1人称複数過去時制の肯定文を正確に書くことができること。 与えられた情報に基づいて、3人称単数現在時制の肯定文を正確に書くことができること。 与えられたテーマについて考えを整理し、文と文のつながりなどに注意してまとまりのある文章を書くことができること。</p>	<p>話し手からの質問や依頼、提案などを聞いて適切に応じる学習場面を設定する。</p> <p>書かれた内容を考えながら黙読したり、その内容が表現されるように音読する。</p> <p>まとまりのある文章を読んで、段落ごとの大まかな流れを把握したり大切な部分を見つけたりしながら読み取る学習を行う。</p> <p>会話の流れから時制を判断し、正しい主語を選択し、語順や語法に留意して文を書いたり見直したりする学習活動を行う。</p> <p>無回答率が高いため、短い文をいくつか書いて、文と文を正しくつなげて書くことができるようにする。</p>
<p>【参考】</p> <p>「話すこと」領域 「話すこと」領域の平均正答率については、今回は「参考値」として扱うよう国から示されているため、全国平均との比較は行わず、設問ごとの分析から分かる、課題と改善の方向のみ掲載しています。</p>	<p>聞いて把握した内容を踏まえて、即興で応じたり質問したりすること。</p>	<p>聞いたり読んだりしたことなどについて、問答したり意見を述べ合ったりする活動を積極的に取り入れる。</p>

英
語

回答の傾向	教育課程上の課題・改善策
<p>「自分にはよいところがある」「将来の夢や希望を持っている」「人の役に立つ人間になりたい」という質問に対する肯定的な回答の割合がそれぞれ全国値とほぼ同程度であるが、やや下回っている。</p> <p>「今住んでいる地域の行事に参加していますか」という質問に対する肯定的な回答が全国値よりやや上回っている。</p> <p>「学校に行くのは楽しいと思う」「学級みんなで話し合って決めたことなどに協力して決めたことなどに協力して取り組み、うれしかった」という質問に対する肯定的な回答は全国値より下回っている。</p> <p>「読書は好き」と回答した割合は全国値よりも高く、80%以上が肯定的な回答をした。また、読書時間が1日30分以上の割合も全国値より高い。</p> <p>「家庭学習」の「時間」「計画性」については、全国値とほぼ同程度である。</p> <p>「生徒の間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思いますか」という質問に対して、肯定的な回答の割合は低く、全国値を下回っている。関連して、各教科、特別活動、道徳等の場面でも、同様の趣旨の質問に対する肯定的な回答の割合は低い。</p>	<p>各教科の学習内容を通して社会への参画意識を高める「振り返り」の場面を設定する。</p> <p>特別活動等における体験的な活動やボランティア活動への主体的な参加を通して、自己有用感を高めながら社会における様々な役割や生き方を理解できるように、各教科・道徳や総合的な学習の時間との関連づけを工夫する。</p> <p>各教科や特別活動等において、生徒の疑問や発想を生かしたり、話し合いや発表の場面で異なる意見を認め合ったりするなど、一人一人の生徒が主体的に学習に参加できるように授業を改善する。</p> <p>朝読書の時間や国語科の授業において、学校図書館司書を活用した取組を今後も継続させ、一層の充実を図る。</p> <p>これまで重視してきた基礎的な学習内容の反復をねらいとした宿題を継続するとともに、特別活動において自分に合った家庭学習のあり方を考える機会をもつ。</p> <p>授業へ取り組む上で必要な基本的な技能の習得を目指してきたこれまでの指導が一定の成果を上げている。身に付けた知識を新たな知識と関連づけたり、目的に応じて使いこなしたりするなど、対話的で深い学びへつなげていくことが課題である。</p>